

いい声、いい汗、いい笑顔



水

紋

やればできる！

学校教育目標

よく考える子《熟考》
あきらめない子《敢行》
たくましい子《健康》

別海中央小学校学校だより 平成28年3月18日(金)第13号 発行責任者 住吉 幹城

平成27年度 別海町立別海中央小学校卒業式 校長 式 辞

どこまでも限りなく広がる真っ白な北の大地、大別海の大草原にも確かに聞こえる雪解けの音、降り注ぐ太陽の光、梢を渡る小鳥たちのさえずり、生命(いのち)の息吹を感じるこの佳き日。

第95五回卒業生として別海町立別海中央小学校を巣立つ70名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

本日は、別海町教育委員会 指導主幹谷口秀文様をはじめ、ご来賓の皆様、並びに保護者の皆様には、何かとご多用のところ、ご臨席賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

今、皆さんはこの6年間を振り返り、様々なことを思い出していることでしょうか。不安と期待で迎えた入学式、そして成長と共に回を重ねていった運動会、遠足、水泳学習、マラソン記録会、学芸会、スケート記録会。友達との絆を深めた宿泊学習、命と平和について考え、学び合った修学旅行、どれをとっても忘れられないことばかりでしょう。

特に、今年は最上級生としての責任の重さに、押しつぶされそうになったこともあったでしょう。しかし、そんな時も、仲間と励まし合い、逃げることなく立ち向かい乗り越えてきました。縦割り班での皆さんの行動には、逞しさと、優しさがあふれ、頼もしいリーダーとしての姿がありました。また、何事においても「やれば できる！」を率先して行い、全校を一つにまとめ上げてきました。皆さんは、本当に「最高学年」、「最高に素晴らしい学年」に成長し、「中央小リーダーのバトン」を後輩にしっかり手渡しました。

さて、これから出会うであろう幾多の出来事は、楽しいことばかりではないでしょう。多くの困難にくじけそうになることもあるでしょう。しかし、そんな時も、この言葉を思い出し、決してあきらめることなく、自分自身を奮い立たせ、果敢に困難に立ち向かっていってください。

先日の皆さんとの授業で「友達」や「命」について学び合いました。「友」という漢字の成り立ちに込められた意味、1年生の時、迎えてくれた「アンパンマン」に込められていた「命・生きる」ということの意味。「命のリレー」に繋がるこれからの人生で大切にしなければならない大きなテーマです。

さあ、四月からは中学生です。新たな出会いと世界が皆さんを待っています。大いなる夢と希望を抱いて中学校へ進んでください。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。皆様の大切なお子様をお預かりして6年、お子様は今、立派に巣立っていきます。全職員一同、心よりお祝い申し上げます。

また、保護者の皆様には、これまで本校の教育活動に対し深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。これからも別海中央小学校の発展を見守っていただき、側面からご協力をお願い申し上げます。以上で卒業生の前途を祝し式辞といたします。

平成28年3月18日

別海町立別海中央小学校 校長 住吉 幹城



積土、山を成す

君たちの卒業にあたり、この言葉を贈ります。意味するところは、読んで字の如く、「土も積み続けるならば、山をつくる」ということです。

努力を惜しんではいけません。大きな成功の陰には必ず地道な努力の積み重ねがあるのです。これから様々な人と巡り会い、様々な生き方に出会うでしょう。羨むほどの成功を収めた人に出会うこともあるでしょう。しかし、その成功だけに目を奪われてはいけません。その成功を如何に成しえたか、目を懲らして見て欲しいのです。

それは氷山に似ています。極寒の海に雄々しく切り立つ氷山です。そのすそ野を深くのぞき見たならば、海面下に氷山の何十倍もの氷塊があることに気づくはずで、君たちは忘れてはいけません。本当の成功とは、日々の努力の積み重ねの上にはしかないということ。

校長 住吉 幹 城

校長の授業「友・命」

校長 住吉 幹 城

先日3月15日、6年生に授業を行う機会がありました。小学校を巣立っていく子ども達に「友達」と「命」などを考えてほしいとの願いを込めてお話をしました。

1つ目は、「友達」とはどのような関係を言うのかを考えてもらいました。「友」の語源である二つの手の絵を示し、その絵から連想される漢字を考えてもらいました。その手の位置関係から「支・拳・人・守・卒」などを考えてくれました。右手が二つであることに気づき、支えていること。相手の手を守っていることなど、想像力を駆使して相談し合いながら考え出してくれました。そのあと、その絵文字から甲骨文字、漢字へと変化していく図を示し「友」という漢字を確認しました。子ども達はあれこれ考えを巡らす中で「友」という漢字が、力を合わせて同じ方向を目指し、正義の手（右手）であることから、「友」とは正しい行いをする者同士に生まれる関係であること、悪事を助け合う関係は、「友」ではないことを学びました。

「アンパンマンのマーチ」

(前略)

そうだ うれしいんだ
生きる よろこび
たとえ 胸の傷が痛んでも
ああ アンパンマン
やさしい 君は
いけ！みんなの夢 守るため
何が君の しあわせ
何をして よろこび
わからないまま 終わる
そんなのは いやだ！
忘れないで 夢を
こぼさないで 涙
だから 君は 飛ぶんだ
どこまでも (後略)
(是非全部読んでみてください)

2つ目は、「命」についてです。子ども達に「アンパンマンのマーチ」を聴いてもらいました。みんな知っている「それ行け！アンパンマン」のテーマ曲です。この歌は5年前の3月11日の東日本大震災のあと、被災者への応援の歌の一つとしてみんなを励ましていた曲でした。

アンパンマンの作者であり、この歌を作った故やなせたかし氏は最愛の弟を特攻隊で亡くし、自分も辛い戦争を経験しました。弟への強い愛と平和への願いが、アンパンマンに託されています。歌詞を改めて読んでみて、歌詞の意味の深さに驚き、同時にこのアンパンマンに託された願いの重要さを感じました。

修学旅行での「空襲」の見聞学習や学芸会での「はだしのゲン」を見た時、アンパンマンの歌詞と重なって重く響きました。

アンパンマンは、意外と弱いヒーローです。ダメージを受けることを承知で自分の顔を与える心優しいヒーローです。困ったり悩んだり、そしてみんなに助けられながら、何とか頑張っているヒーローです。何とも人間くさいヒーローですが、「命・夢・友情・家族愛」を私たちに伝えてくれるアニメだと思います。

子ども達とこの歌を通して、「命」や「生きる」ということについて考えてみました。

